

第19回

議会報告会

～開かれた議会をめざして～

令和6年11月9日(土)
午後6:30～午後8:30

調布市文化会館たづくり12階 大会議場

調布市議会

議会報告会 次第

- 1 開会あいさつ
- 2 議長報告
- 3 総務委員会報告
- 4 文教委員会報告
- 5 厚生委員会報告
- 6 建設委員会報告
- 休憩
- 7 委員会ごとに分かれて
 意見を伺います
- 8 閉会あいさつ

★の用語は P23～24 に解説を掲載

各委員会の担当分野

総務委員会

- ⇨ 市政運営の基本方針や行政計画
- ⇨ 歳入や税金に関すること
- ⇨ 会計、監査、選挙に関すること
- ⇨ 防災・防犯対策

文教委員会

- ⇨ 市内小中学校運営や教育行政の運営
- ⇨ 図書館、公民館、博物館など、社会教育分野
- ⇨ 芸術・文化振興、生涯学習、市民活動、地域コミュニティー
- ⇨ 観光・産業振興、映画のまち調布の推進
- ⇨ オリンピック・パラリンピックの推進、市民スポーツ振興など

厚生委員会

- ⇨ 高齢者、障がい者のくらしや福祉、介護サービス
- ⇨ 予防接種や検診などの健康づくり、国民健康保険に関すること
- ⇨ 子育て支援・幼稚園・保育園・学童クラブ
- ⇨ 青少年の育成、子ども・若者支援など

建設委員会

- ⇨ 街づくり
- ⇨ 道路や橋等の整備、交通安全対策、住宅に関すること
- ⇨ 自転車等駐車場の整備
- ⇨ 地球環境や生活環境の保全
- ⇨ 公園・緑地等の整備や保全
- ⇨ ごみの減量対策
- ⇨ 狂犬病予防接種、飼い主のいない猫対策

●お願い

第二部では、各常任委員会のグループに分かれ、各常任委員会で発表された内容に対してのご意見を伺います。多くの方が発言できますよう、時間を制限させて頂く場合もございますので、ご協力をお願いいたします。

議長報告

令和6年第3回定例会

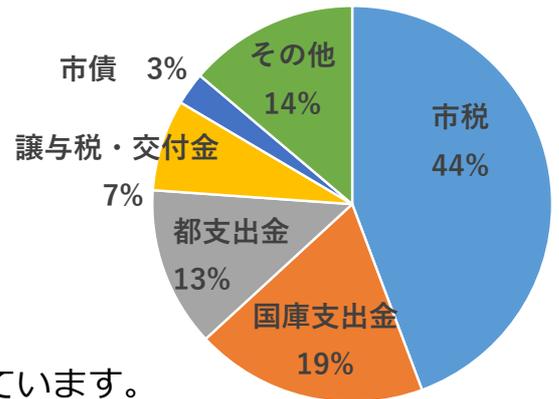
9月3日から9月25日（23日間）



令和5年度一般会計歳入決算 1,131億400万円の内訳



- ・市税 501億3,200万円
※ 歳入全体の44.3%（前年度44.1%）
- ・国庫支出金 212億3,900万円
- ・都支出金 147億2,700万円
- ・譲与税・交付金 84億2,200万円
- ・市債 30億300万円
- ・その他 155億8,200万円

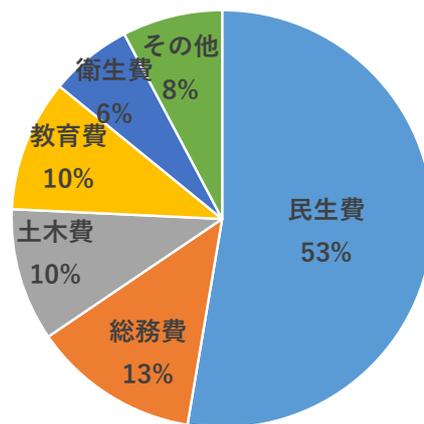


※金額は各項目について100万円未満を四捨五入しています。

令和5年度一般会計歳出決算 1,078億4,400万円の内訳



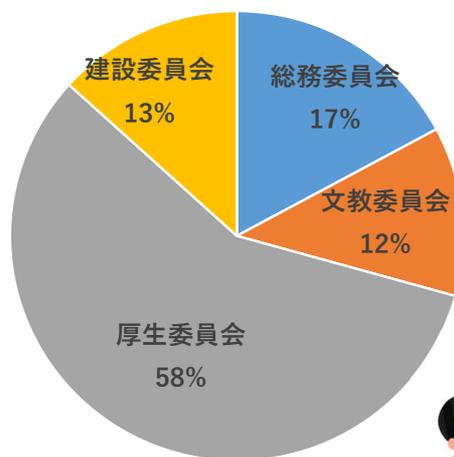
- ・ 民生費 567億6,800万円
※ 歳出全体の52.6% (前年度51.7%)
- ・ 総務費 138億3,500万円
- ・ 土木費 110億9,000万円
- ・ 教育費 110億 700万円
- ・ 衛生費 68億4,900万円
- ・ その他 82億9,500万円



※金額は各項目について100万円未満を四捨五入しています。

令和5年度一般会計歳出決算 1,078億4,400万円の内訳 (常任委員会別)

- ・ 総務委員会 184億7,000万円
- ・ 文教委員会 131億3,300万円
- ・ 厚生委員会 619億4,200万円
- ・ 建設委員会 142億9,900万円



※金額は各項目について100万円未満を四捨五入しています。



令和5年度決算収支



区 分	5年度	4年度	増減額
歳 入	1,131億 400万円	1,095億8,700万円	35億1,700万円
前年度からの増減率	3.2%	0.1%	—
歳 出	1,078億4,400万円	1,036億2,900万円	42億1,500万円
前年度からの増減率	4.1%	1.4%	—
歳 入 歳 出 差 引	52億6,000万円	59億5,800万円	△ 6億9,800万円
繰 越 財 源	9億1,300万円	13億 800万円	△ 3億9,500万円
実 質 収 支	43億4,700万円	46億5,000万円	△ 3億 300万円

※金額は各項目について100万円未満を四捨五入しています。

ご清聴ありがとうございました

次 第

- 1 開会
- 2 **議長報告**
- 3 総務委員会報告
- 4 文教委員会報告
- 5 厚生委員会報告
- 6 建設委員会報告
- 休憩
- 7 議会全般，常任委員会ごとに分かれて広聴
- 8 閉会

MEMO

総務委員会



委員長
副委員長

木	伊	井	榑	平	青	沼
下	藤	上	原	野	山	田
安		耕	登			
子	学	志	志	充	誠	亮

総務委員会

行政経営部

総務部

市民部

会計管理者

監査委員

選挙管理委員会

第3回定例会

議案4件

本発表では

▼R5年度一般会計歳入歳出決算の認定
総務委員会所管部門



令和5年度 一般会計歳入歳出決算

行政経営部



- 企業誘致など中長期的な視点での税込確保策の検討。東部地域をはじめとする魅力あるまちづくりの推進を要望。
- 経常的経費には一般財源を充当すべき。基金は考え方や目的を整理し、積立目標額や取り崩し範囲の明確化を。

行政経営部



- 都市計画道路は、街づくりの根幹をなすものであり、各地域においても完成を待ち遠しく思っている。各優先整備路線の新規完成に向け、重点的に取り組むことを強く要望。
- 公共施設整備では、グリーンホールの建て替えにむけ、グリーンホールほかの付随施設については、「調布にしかないもの」「調布にいかなければならない施設」を追求すべき。

行政経営部

●交通不便地域の市民、移動が困難な市民へのサービス向上の観点から、オンライン相談窓口の導入を



総務部（危機管理）

●サギパト隊による啓発活動の本格実施を評価。特殊詐欺撲滅に向けた一層の取組を。

●「フェーズフリー★」の視点を踏まえた施策の推進、市民への周知強化を。



総務部（危機管理）

●災害時のプッシュ型情報通知について、デジタル
ディバイド★対策を含め、全ての市民への確実な情報提供を。

●防犯カメラは、何度も同じ地域のカメラ録画の視聴要請がある場合は市行政として、現場周辺的环境に犯罪や事故の原因がないかをよく検証すべき。



総務部（人事課）

●管理職昇任候補者の女性比率が年々低下しており、女性管理職を増やすためにも、常勤職員数を増やすなど超過勤務時間数を減らす取組を。

●デジタルツールの活用など働き方改革を評価。メンタルヘルスケア、テレワークの推進など職場環境整備を。

ご清聴ありがとうございました！



令和6年
11月9日

文教委員会

議会報告会資料

文教委員紹介

須山 妙子 委員長
澤井 慧 副委員長
大須賀 浩裕 委員
岸本 直子 委員
内藤 美貴子 委員
丸田 絵美 委員
宮本 和実 委員



鳴門市議会議場

所管部門

学校教育

文化生涯学習

産業振興

公民館・図書館・郷土博物館

スポーツ振興

キャッシュレス決済促進事業

■事業概要■

- コロナ禍における物価高騰の影響を受ける市内事業者の継続的な支援
- 地域経済の活性化を図るとともに、市内のキャッシュレス決済の普及
キャッシュレス決済によるポイントを20%還元

■委員からの質疑・要望等■

- 市内事業者のキャッシュレス決済導入とその評価については、
現在およそ2090店舗。年々増加している。
決済ポイント還元事業も想定を上回る利用のため、早期終了した。
- 市内での普及率及び近隣自治体との比較については
現在、市では具体的な数値はもっていない。
今後は導入の目標値など具体的な数値を設定して事業に取り組むべき。



キャッシュレスポイント還元事業

ポイント還元費用 2億4000万円
業務委託費用 4400万円

市民プール劣化度調査事業

■事業概要■

■令和5年10月
50メートルプールの水位が減少している事象が発見されたことから、プール水槽や管理棟を含む施設全体の劣化度調査を実施

■令和6年4月 劣化度調査結果
50メートルプールのシート防水、循環配管、排水管などの部位の劣化が著しく、緊急対応が必要

■委員からの質疑・要望等■

■学校プールをはじめ、屋外プールの利用状況の再確認、修繕には多大な費用が想定されることから、新たな公共施設の複合化の検討

■スケボーパークなど新たなスポーツ施設の拠点ほど幅広く調査を要望



劣化度調査の様子

調布市民プール劣化度調査委託費用 **4400万円**

楽器寄附事業

■事業概要■

■令和5年7月から楽器寄附ふるさと納税が開始
■都内では調布市が初めての実施

■令和5年度寄附実績■

フルート2台	アルトサクソ4台	トランペット4台
トロンボーン3台	ホルン1台	テナーサクソ2台
計16台		

■委員からの質疑・要望等■

■業務委託費の詳細について
広報のためにウェブ運営費、査定費、輸送費
■周知方法について
市内の大学や音楽イベントにて、チラシを配布するなどウェブ以外でも寄附を募っている



神代中学校吹奏学部 クラリネット贈呈の様子

楽器寄附ふるさと納税業務支援費用 **52万円**

エデュケーション アシスタントについて

■ 業務内容 ■

児童へのきめ細やかな対応が必要な小学校1年生から3年生の学級担任を補佐 副担任相当の業務を行うスタッフです。

児童一人一人に合わせて学習サポートを行ったり、登下校や休み時間中の児童の様子を見守ったりすることで、児童が安心して学校生活を送れる様々な業務に携わります。

■ 委員からの質疑・要望等 ■

■ 配置状況や雇用形態。具体的な業務内容など基本的な確認

■ 現場からの声や課題について

エデュケーション・アシスタントに対する声

児童の声

先生が他の人と話している時に、もう一人の先生に相談ができる。

あぶないときに助けてくれた。気にかけてもらっている。



保護者の声

まだ低学年なので、担任と一緒にアシスタントの先生がいると心強い。

担任の負担軽減にもなるし、子供のトラブル防止や、安定した学校生活にもつながる。



教員の声

児童に向き合う時間が増えた。

運動時間が早くなった。心の余裕もでき、児童に対してずっと笑顔でいられるようになった。



不安感の強い児童にアシスタントが寄り添うことで、児童の心の安定につながっている。

マンパワーが増えたことで、より一層手厚い指導体制をとることができる。

調布市立北ノ台小学校 エデュケーション・アシスタント 朝倉さん

3月の市報でこの職を知り、子供と関わることができるというところに惹かれました。子供と関わることで、パワーや元気、笑顔がもたらえたいなと思い応募しました。

九九検定で「自信をもって行っておいで。」と声をかけた子が「合格したよ。」と嬉しそうに戻ってきました。背中を押すことができよかったと実感したエピソードです。



江戸川区立船堀小学校 上木主幹教諭

エデュケーション・アシスタントが学年にいてくれることで、授業の準備や児童に向き合える時間が増え、授業改善・OJTの充実・指導力の向上・残業時間の減少等、効果は多岐に渡ると感じます。

心理的・身体的な負担が減り、心の余裕にもつながります。教職員の心身の健康が保たれることは、より良い教育活動には欠かせない要因の一つだと思います。



令和6年度議会報告会
厚生委員会



佐藤堯彦 副委員長
松野英夫 委員
田村ゆう子 委員
鈴木ほの香 委員
古川陽菜 委員
田中謙二 委員
阿部草太 委員長

◆第3回定例会で取り扱った議案

【令和5年度決算】

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計

【その他の議案】

令和6年度補正予算(一般会計、特別会計3本)
条例制定(2本)
条例改正(2本)

◆調布市手話言語条例について

全員賛成

調布市手話言語条例について

- ◆手話が独自の「言語」であるという認識を明示。
- ◆市は手話を使用する環境を整備する責務を負う。
- ◆市民、事業者は手話に対する理解を深める役割を担う。



調布市手話言語条例の今後について

- ◆非常事態時に情報収集と意思疎通を行える取組。
- ◆普及啓発活動の実施や教育現場での支援。
- ◆手話通訳者の頸肩腕障害への理解や労働環境の改善。



◆調布市国民健康保険条例の一部を改正する条例

賛成した委員の意見

- ◆国民健康保険法の一部改正に伴う改正である。
- ◆マイナ保険証は医療DX★のために重要である。
- ◆利用者の利便性向上が期待される。



賛成多数

反対した委員の意見

- ◆マイナ保険証への切り替えに不安を持つ人がいる。
- ◆マイナ保険証の取得は任意だが、事実上強制している。

◆決算質疑(保育課所管分)

病児・病後児保育について



- ◆今年4月から閉室中の保育所があることへの懸念。
- ◆利用枠ひっ迫の際、ベビーシッターも活用できることの周知。

保護者・保育施設へのサポートについて

- ◆発災時の保護者へのお迎え要請について対応が必要。
- ◆現在作成中の「保育の質ガイドライン」について。
 - ↳ 保育士の処遇改善の要望。



◆決算質疑(福祉総務課所管分)

総合福祉センターの移転について

- ◆シャトルバスや集会機能について質疑あり。
 - ⇒シャトルバスは実証実験でルートや発着場所を検討。
- ◆今後も関係者や住民との意見交換を求める声あり。

調布市避難行動要支援者避難支援プランについて

- ◆75歳以上の要支援者の一部について個別シートを作成。
- ◆様々な災害に備え、今後避難支援プランを改定する。
- ◆地域防災計画にも必要な修正事項を加える。



◆決算質疑(高齢者支援室所管分)

ひとりぐらし等対策事業費について

- ◆人感センサー等について質疑あり。
- ◆高齢の方、周囲の方の安心に繋がるため、周知徹底を。
- ◆今後も高齢化が進む中で、予算の見直しも視野に。

長寿者表敬訪問などについて

- ◆令和5年度は対象者が全員辞退し、実施せず。
- ◆今後も辞退が考えられるため、事業の見直しを。
- ◆敬老金の贈呈事業においても質疑あり。



第19回議会報告会

建設委員会



委員名簿

委員長	大野 祐司
副委員長	清水 仁恵
委員	磯邊 隆
同	川畑 英樹
同	鈴木 宗貴
同	藤川 満恵
同	山根 洋平

写真
みやま市バイオマスセンターフルフラン
メタン発酵槽(福岡県みやま市)

建設委員会の 所管

- 環境部
- 都市整備部

脱炭素・ゼロカーボンシティ

ごみ対策

住宅の耐震化促進

駐輪場対策

脱炭素・ゼロカーボンシティ★



COP28 国連気候変動枠組条約第28回締約国会議

⇒2035年までに温室効果ガスを2019年比60%削減

国)第六次環境基本計画、第五次循環型社会形成基本計画
都)大手住宅メーカーへの太陽光パネル設置義務化

市内の二酸化炭素排出の8割を占める家庭や事業所向けの
施策の充実に取り組む

脱炭素に向けた具体的取組



公共施設への太陽光発電
設備のさらなる導入

フェーズフリー★の視点も入れ、災害時も維持できる公共施設であることのPRを要望

広報紙「ゼロカーボンシティ
ちようふ」の発刊

子ども向けの環境教育の充実とキッズページの活用を要望

市内事業所LED照明設置
等補助金

商工会に加盟していない事業者への周知も含めて補助の展開を行うよう要望

ごみ対策について



3R★の推進について

利再来留館★の出張販売の充実を要望
子育て用品のリユース促進を要望

収集運搬について

収集時の火災事故の防止に向け、市民に適切な分別について広報するよう要望

ごみ袋について

市民の意見を聞きながら大きさや種類、価格の変更に向けた取り組みを進めるよう要望

住宅の耐震化促進について



マンションの耐震化

東京とどまるマンション★の制度についての周知やPRを要望

木造住宅の耐震化

耐震アドバイザー★の活用も含めた制度の周知やPRを要望

特定緊急輸送道路★沿道建築物の耐震化

令和7年度に耐震化率100%との目標があることも踏まえ、補助率の高い補助金事業の周知を要望

駐輪場対策について



つつじヶ丘駅北口周辺の
駐輪場について【次頁写真】

神代出張所の仮移転により民間駐輪場がなくなることから、容量確保に向けた取組を進めるよう要望

駐輪場の満空表示について

システムの早期実装を要望

シェアサイクル★ステーション
について

市内観光の交通手段としても活用が期待できることから、さらなる拡充を要望



つつじヶ丘駅北口付近の
神代出張所仮移転先予定地

【い】

医療DX

DXとは「デジタル・トランスフォーメーション」の略で、医療分野におけるデジタル技術を活用した変革のことを指す。例えば、電子カルテの普及や、遠隔診療、AIを使った診断サポートなどが含まれる。

【さ】

3R（スリーアール）

リデュース（Reduce：減らす）、リユース（Reuse：再利用）、リサイクル（Recycle：再生利用）の頭文字Rをとったもので、環境負荷を減らすための基本的な取り組みを指す。例えば、使い捨て製品の使用を減らす（リデュース）、使わなくなった製品を他の人に譲る（リユース）、紙やプラスチックなどのリサイクル可能な製品を分別収集し、再び製品として生まれ変わらせる（リサイクル）といった取り組みが挙げられる。

【し】

シェアサイクル

自転車の一時利用貸出事業のこと。交通手段の利便性を向上させるシステムとして、主に都市部で導入されており、利用者はスマートフォンや専用アプリを用いて自転車を借りたり返却したりすることができる。

【せ】

ゼロカーボンシティ

環境省が提唱する「2050年に向けてCO2排出量を実質ゼロ」にするために取り組むことを表明した地方公共団体のことを指す。再生可能エネルギーによって稼働される都市であり、二酸化炭素排出量がなく、温室効果ガス排出において地球に害を及ぼさない都市のことを言う。

【た】

耐震アドバイザー

建物や構造物の耐震性能を評価し、地震に対する安全性を確保するための専門家。建築物の設計や補強に関する知識を持ち、地震の影響を最小限に抑えるための対策を提案する。

【て】

デジタルデバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。

【と】

東京とどまるマンション

災害による停電時でも、自宅での生活を継続しやすいマンションを登録・公表し、災害に強いマンションであることを普及する事業。登録されているマンションでは、日頃から防災訓練を行ったり、備蓄を行ったりと防災に対する備えがなされている。

特定緊急輸送道路

災害時や緊急事態時において、迅速かつ安全に物資や人員を輸送するための道路。通常の交通規制が緩和され、緊急車両や緊急輸送車両が優先的に通行できるように設計されている。地震、洪水、台風などの自然災害だけではなく、新型コロナウイルス感染症拡大の際には、医療物資の迅速な輸送に利用された。

【ふ】

フェーズフリー

普段利用している物やサービスを、災害などの非常時にも役立てることができるという考え方。

【り】

利再来留（りさいくる）館

リユース（再利用）を目的に、粗大ごみとして収集した家具等を手直しして展示・販売をする施設。タンス、テーブル、机、いす、衣装ケース、メタルラックなど、常時 100 点ほど展示し、販売価格は 500 円から 5,000 円まで程度が中心となっている。また、調布市内に限り 1 回 1,000 円で配達も行っている。所在地は調布市富士見町 3 丁目 2 番地 1(中央自動車道高架下。富士見町ふれあいの家の真向い)。

MEMO